



# 平成30年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月7日

上場会社名 アース製薬株式会社  
 コード番号 4985 URL <https://corp.earth.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 克宜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 経営統括部統括部長 (氏名) 三枚堂 正悟

TEL 03-5207-7458

四半期報告書提出予定日 平成30年5月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	41,057	0.1	1,198	62.3	1,222	62.1	505	75.3
29年12月期第1四半期	41,006	5.6	3,181	8.1	3,228	8.4	2,044	4.2

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 409百万円 ( %) 29年12月期第1四半期 2,204百万円 (18.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	25.01	
29年12月期第1四半期	101.24	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	130,390	47,538	32.3
29年12月期	118,167	50,529	38.0

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 42,073百万円 29年12月期 44,940百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		115.00	115.00
30年12月期					
30年12月期(予想)		0.00		115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	106,000	6.3	8,800	9.0	9,000	8.8	5,700	8.8	282.24
通期	190,000	5.7	6,000	34.6	6,400	28.3	3,000	36.0	148.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期1Q	20,200,000 株	29年12月期	20,200,000 株
期末自己株式数	30年12月期1Q	4,653 株	29年12月期	4,618 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期1Q	20,195,381 株	29年12月期1Q	20,195,563 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、国内景気は、個人消費の持ち直しや企業収益の改善などを背景に、緩やかに回復しました。また、当社グループが展開に注力するアジア地域では、タイ・ベトナム・中国がそれぞれ着実な経済成長を続けており、当面この動きが続くと見込まれる状況です。

このような経済状況のなか、当社グループは経営理念「生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。」のもと「お客様目線による市場創造」を重視しており、現在進行中の中期経営計画では『海外展開の強化』『グループシナジーの最大化』『収益力の向上』に加え、従来からの取り組みを発展・強化することをテーマに掲げ、中期経営目標“2020年連結売上高2,000億円、連結経常利益150億円の達成”に向けて、成長力と収益性の双方を高める経営を進めています。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績については、虫ケア用品や入浴剤が前期を下回って推移したものの、昨年子会社化したEarth Corporation Vietnam(旧 A My Gia Joint Stock Company、前期の損益は第3四半期連結会計期間より計上)の連結寄与もあり、売上高は410億57百万円(前年同期比 0.1%増、計画比 96.9%)となりました。一方、利益については、売上構成の変化に伴う粗利率の低下に加え、各種プロモーションの実施による費用の増加、物流コストの高騰、Earth Corporation Vietnamの買収に伴うのれん等の償却費の発生など、計画時点で見込んでいた費用の増加により、営業利益11億98百万円(前年同期比 62.3%減、計画比 93.5%)、経常利益12億22百万円(前年同期比 62.1%減、計画比 92.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億5百万円(前年同期比 75.3%減、計画比 98.9%)となりました。

なお、当社グループは虫ケア用品の売上構成比が高く、売上高が3月～7月に偏るといった季節性がある一方、人件費等の固定費は年間を通じてほぼ均等に発生するため、四半期毎の売上高や利益には相応の影響があります。

(連結業績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (計画)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比	計画比
売上高	41,006	42,358	41,057	0.1%	96.9%
営業利益	3,181	1,281	1,198	△62.3%	93.5%
経常利益	3,228	1,323	1,222	△62.1%	92.4%
親会社株主帰属四半期純利益	2,044	510	505	△75.3%	98.9%

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

## [家庭用品事業]

家庭用品事業におきましては、日本国内において新製品の発売、積極的なプロモーション施策の実施などにより市場の活性化に努めるとともに、収益力の向上に向けて返品削減、販促費の有効活用に関する取り組みを実施しております。また、海外ではタイ・ベトナム・中国を中心に経営資源を積極的に投入するなど、展開の強化を一層推進する取り組みを実施しております。

当第1四半期連結累計期間における当事業の業績については、これらに取り組んだものの、売上高は378億27百万円(前年同期比 1.1%減)、また、当初の計画どおり物流費やマーケティング費用が増加したことで、セグメント利益(営業利益)は9億93百万円(前年同期比 67.3%減)となりました。

## (家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
虫ケア用品部門	15,495	14,902	△593	△3.8%
日用品部門	20,846	21,157	311	1.5%
口腔衛生用品	8,889	8,789	△99	△1.1%
入浴剤	4,849	4,412	△436	△9.0%
その他日用品	7,108	7,955	847	11.9%
ペット用品・その他部門	1,918	1,767	△150	△7.9%
売上高合計	38,260	37,827	△432	△1.1%
セグメント利益(営業利益)	3,034	993	△2,040	△67.3%

(注) 売上高にはセグメント間及びセグメント内の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第1四半期連結累計期間では2,731百万円、当第1四半期連結累計期間では2,327百万円です。

部門別の主な状況は次のとおりであります。

**虫ケア用品部門**

虫ケア用品部門において、国内市場は最高気温が前年を上回って推移したことで、好調なスタートを切り、当社の市場シェアも59.6%(前年同期比+0.9ポイント)と前期を上回りました。

一方で、適正量の出荷に努めたことや、グループ間の内部取引が減少したこと、インバウンド等の需要が落ち着いたことなどにより、3月末時点における出荷は前期を下回りました。

海外では、タイでやや低調な立ち上がりとなりましたが、全体では現地通貨ベースで横ばいとなりました。

以上の結果、当部門全体の売上高は149億2百万円(前年同期比 3.8%減)となりました。

**日用品部門**

口腔衛生用品分野においては、知覚過敏予防ハミガキ『シュミテクト』が好調を維持する一方で、洗口液『モンダミン』が微減となったほか、義歯安定剤『ポリグリップ』の出荷が前年を下回ったことなどにより、売上高は87億89百万円(前年同期比 1.1%減)となりました。

入浴剤分野においては、錠剤タイプの『温泡』が好調に売上を伸ばした一方、粉末タイプの『バスクリン』・『バスロマン』が伸び悩んだことなどにより、売上高は44億12百万円(前年同期比 9.0%減)となりました。

その他日用品分野においては、昨年子会社化したEarth Corporation Vietnam(前期の売上高は、第3四半期連結会計期間より計上)の売上寄与に加え、『ミセスロイド』をはじめとする衣類用防虫剤や、『スッキー！』などの消臭芳香剤、『快適ガードプロ』などの家庭用マスクが順調に推移したことにより、売上高は79億55百万円(前年同期比 11.9%増)となりました。

以上の結果、当部門の売上高は211億57百万円(前年同期比 1.5%増)となりました。

**ペット用品・その他部門**

ペット用品分野においては、ペット用虫ケア用品が順調なスタートを切りましたが、ペットフードやリード・胴輪などのアクセサリ用品の売上が伸び悩みました。また、その他分野の売上減もあり、当部門の売上高は17億67百万円(前年同期比 7.9%減)となりました。

## 〔総合環境衛生事業〕

総合環境衛生事業におきましては、主要な顧客層である食品関連工場、医薬品・化粧品関連工場、包材関連工場にて原料やエネルギーコストの高騰に対応したコスト削減への動きが強まり、製造工程における効率化、工場の統廃合・集約化、海外への工場移転などが進みました。一方で、食品の異物混入問題から消費者の「安全・安心」に対する意識はさらに高まり、当事業が提供する高品質の衛生管理サービスへのニーズが高まる状況でありました。

このような状況のなか、人材の育成、業務効率の改善を目的としたソフトウェア投資など、お客様のニーズに速やかに対応できる社内体制を構築するとともに、技術開発力の強化により差別化された品質保証サービスを提供することで、契約の維持・拡大に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当事業の売上高は55億83百万円(前年同期比 1.4%増)、セグメント利益(営業利益)は3億21百万円(前年同期比 16.8%減)となりました。

## (総合環境衛生事業の業績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	5,506	5,583	77	1.4%
セグメント利益(営業利益)	386	321	△64	△16.8%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第1四半期連結累計期間では28百万円、当第1四半期連結累計期間では25百万円です。

## (2) 財政状態に関する説明

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べて122億23百万円増加し、1,303億90百万円となりました。これは主に、売上債権及びたな卸資産の増加によるものです。

当第1四半期連結会計期間における負債は、前連結会計年度末に比べて152億13百万円増加し、828億52百万円となりました。これは主に、仕入債務及び短期借入金の増加によるものです。

当第1四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度末に比べて29億90百万円減少し、475億38百万円となりました。これは、利益剰余金、為替換算調整勘定の減少などによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて5.7ポイント低下し、32.3%となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりませんので、記載を省略しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月13日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,453	8,041
受取手形及び売掛金	20,661	29,556
商品及び製品	17,466	24,252
仕掛品	985	999
原材料及び貯蔵品	4,177	4,392
繰延税金資産	965	1,350
その他	2,447	2,961
貸倒引当金	△34	△41
流動資産合計	57,123	71,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,060	28,062
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,019	△13,214
建物及び構築物(純額)	15,041	14,847
機械装置及び運搬具	13,779	13,793
減価償却累計額	△9,137	△9,322
機械装置及び運搬具(純額)	4,641	4,470
土地	7,924	7,917
リース資産	520	520
減価償却累計額	△349	△376
リース資産(純額)	170	144
建設仮勘定	182	227
その他	8,112	8,313
減価償却累計額	△6,428	△6,595
その他(純額)	1,683	1,717
有形固定資産合計	29,643	29,325
無形固定資産		
のれん	14,985	14,003
その他	4,270	4,025
無形固定資産合計	19,256	18,028
投資その他の資産		
投資有価証券	7,639	7,031
退職給付に係る資産	3,510	3,524
繰延税金資産	84	80
その他	924	899
貸倒引当金	△13	△11
投資その他の資産合計	12,144	11,524
固定資産合計	61,044	58,878
資産合計	118,167	130,390

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,960	34,350
短期借入金	7,859	18,847
1年内返済予定の長期借入金	4,041	4,040
未払金	7,178	5,819
未払法人税等	1,543	954
未払消費税等	663	190
賞与引当金	194	1,215
返品調整引当金	555	435
その他	3,028	3,275
流動負債合計	53,024	69,128
固定負債		
長期借入金	10,354	9,772
繰延税金負債	2,413	2,211
退職給付に係る負債	571	485
資産除去債務	433	434
その他	841	820
固定負債合計	14,614	13,723
負債合計	67,638	82,852
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,377	3,377
資本剰余金	2,923	2,923
利益剰余金	35,449	33,632
自己株式	△14	△14
株主資本合計	41,736	39,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,377	1,923
為替換算調整勘定	357	△253
退職給付に係る調整累計額	469	484
その他の包括利益累計額合計	3,204	2,154
非支配株主持分	5,588	5,465
純資産合計	50,529	47,538
負債純資産合計	118,167	130,390



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	41,006	41,057
売上原価	24,009	24,619
売上総利益	16,997	16,438
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,128	1,237
広告宣伝費	1,728	1,965
販売促進費	3,238	3,513
貸倒引当金繰入額	13	5
給料及び手当	2,615	2,872
賞与引当金繰入額	721	812
役員退職慰労引当金繰入額	3	-
旅費及び交通費	392	417
減価償却費	194	271
のれん償却額	500	640
地代家賃	263	272
研究開発費	635	653
その他	2,378	2,578
販売費及び一般管理費合計	13,815	15,240
営業利益	3,181	1,198
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	3	0
受取ロイヤリティー	1	1
受取手数料	8	9
受取家賃	26	29
その他	58	54
営業外収益合計	102	101
営業外費用		
支払利息	17	29
為替差損	29	42
その他	8	6
営業外費用合計	56	77
経常利益	3,228	1,222
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	10	5
特別損失合計	10	5
税金等調整前四半期純利益	3,217	1,216
法人税、住民税及び事業税	1,078	929
法人税等調整額	△109	△355
法人税等合計	968	573
四半期純利益	2,249	642
非支配株主に帰属する四半期純利益	204	137
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,044	505

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	2,249	642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	△457
為替換算調整勘定	△72	△611
退職給付に係る調整額	38	16
その他の包括利益合計	△44	△1,051
四半期包括利益	2,204	△409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,991	△544
非支配株主に係る四半期包括利益	212	135

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。